



未来を生き抜く人材育成事業「キャリア教育コーディネーター活用事業」モデル校の指定を受けています。

2年生315名が35社の企業・団体へ訪問しました。

『参加生徒のコメント』

園児と関わるには、まず園児と同じ目線や思いやりをもって接することが大切だと分かりました。また、実際この学園では育児とのつながりが深く、より実践的に学べることが強みだと分かりました。その他にも園児優先！という目標を掲げ、日々学生さん達が真剣に授業に取り組んでいる場面を見ることができ、皆さん子どもたちに対する愛情や熱意がとてもあるんだと感動しました。育児の現場はとても難しく、でも楽しい場所ということが改めて分かりとても良い学びになりました。



↔ 名古屋文化学園にて



↑ 株式会社Askalカバン工房にて

1ヶ月で1.8万件のランドセルリメイクをされているが、全体の2割しかランドセルを寄付、リメイクしていないと知り、世界に広げていくことが課題だと分かりました。また、ランドセル以外にも、通園バッグもリメイクしていることを知りました。Askalカバン工房でキーホルダー作りの体験もして、楽しくリメイクすることの大切さを知りました。そして感謝の気持ちを持つ人、前向きに挑戦できる人、思いに寄り添える人、アンテナを張りめぐらせる人になれるように努力し、世界で活躍できる人になりたいです。

SDGsについてさまざまな活動をされていて、地域だけでなく、世界とも関係を築いていることが分かりました。また、私たち高校生は、今のうちから「政治」について知っておくことが、より良い社会作りにつながることを学びました。加えて、今後の社会では生成AIを正しく使うデジタルリテラシーや、瞬時に物事を判断する「直感力」が求められることも学びました。

名古屋市立大学→



『インタビュープログラム協力企業コメント（一部抜粋）』

- この度は素敵なプログラムに感動いたしました。学生の皆様からの質問が大変素晴らしい内容で、SDGsだけでなく、将来ことや仕事のやりがいなど、皆さんが将来の事を真剣に考えていらっしゃり、私共も刺激をいただきました。
- 生徒の皆さまが目を輝かせながら説明を聞き、積極的に質問される姿がとても印象的でした。「こんな仕事があるんだ」「将来こういう分野に挑戦したい」という声も聞かれ、私たちにとっても嬉しい時間となりました。
- 生徒の皆さまが熱心に質問され、真剣に学ぼうとする姿勢に、私たちも大変刺激を受けました。